

# 北九州モデル導入の**実際**を聞きました

## 先人たちの声

特定医療法人東筑会 介護老人保健施設

### 翡翠苑

入所100名  
北九州市八幡西区森下町27-43

平成7年9月に開設し、平成24年4月に移転。地域から信頼される施設づくりに努め、誠実・愛情・研鑽の三つの誓いを胸に、より良い医療・介護を目指している。

「北九州モデル」実践施設として  
メディアで紹介されました！



施設長補佐  
三橋さん



### 北九州モデル導入の主な取組内容

項目	入浴	センサー対応	早朝業務
問題・課題	入浴に時間がかかる	センサーコールが多く、その対応に追われる	夜勤者の早朝業務の負担が大きい
取組	他業務の振り分けによる入浴介助スタッフの増員と入浴時間の見直しを実施した	センサー設置基準やマニュアルを整備し、また関連病院の見守り用カメラを導入した	夜勤者と早出者の業務を見直し、離床介助など一部の業務を日勤帯(早出)へ移管した
効果	入浴予定時間を <b>超過しなくなった</b>	夜間のセンサーコールが <b>2割減少した</b>	夜勤者の早朝業務量が <b>2割減少した</b>

#### 1 北九州モデルに取り組もうと思ったきっかけは？

今後訪れる更なる人材不足への対応策の一つとして、**業務改善に取り組むケアの質を上げていこう**と考えていました。しかし、自分たちだけでは活動が滞ったり、気付けないこともあるのではないかと悩んでいました。そんな折、北九州モデルの話があり、**第三者の意見を取り入れながら、着実に業務改善を図ろう**と思い取組に参加することにしました。

#### 2 職員との合意形成はどのように行いましたか？

**取り組む理由、目的、メリット、流れをまとめた資料を作成し、それを基に各部署の所属長会議で「一時的に手間が増えても必ず効果があること」「目先のことではなく、先を見据えた取組であること」を説明**しました。これにより所属長の理解が深まり、現場職員への提示も明確かつ統一できたことで、スムーズな合意形成を進めることができました。

#### 3 取組にあたり壁になったことは？

現場が前向きに取り組めるか、不平不満が生じ思うように進まないのではないかと**いう不安**がありました。しかし、施設全体で**同じ方向を向いて取り組めるように準備をしたこと**で、**大きな壁となる事象もなく、比較的スムーズに、そして積極的に取組を進めていく**ことができました。

#### 4 今回の取組で役に立ったことは？

当たり前になりすぎて**ムダやムリが生じていた業務に気付く**ことができ、**自施設を客観的に見直すきっかけ**になりました。また実際に取り組むことで**効果を実感し、業務改善の重要性と必要性を改めて認識**することができました。そして何より、**現場の意識や取り組む姿勢が積極的になった**ことが大きな成果でもありました。

#### 5 新たな取組など、今後の方針は？

引き続き業務改善を進めながら、**新たな介護テクノロジーを導入していく**予定です。具体的には、**インカム活用による情報共有の効率化、見守りカメラによる訪室時のケアの質と効率性の向上**を図ります。また、**特殊浴槽を追加し、安全かつ快適な入浴の提供と職員の負担軽減**を目指します。

#### 6 これから取り組む施設へのアドバイスを！

時代は常に**変化し、進化**しています。その時代の**進化と同じように私たちも変化し、進化**することが求められていると思います。取組をはじめると**一時的に負担が増えます**が、その先には必ず**成果が待っています**。**利用者のためにも、職員のためにも**ぜひとも最初の**一歩を踏み出し、目標や夢を叶えて**いただければと思います。